

【 天国への手紙

2022年12月10日放送分 】

お父さんへ

ラジオネーム：みついで

お父さんが突然旅立ってもう一年以上経つのですね。そちらでは毎日どのくらい過ごしてらるのですか。きっと多くの人たちと会うことができて、思い出話に花を咲かせてらるのではと思います。私のことをいつも見てて文句のことも言ったらと思ってらるのではと思いますか。

私だっと思ってたらどうもはだへんことをおぼえます。でもお父さん、私がそむいて行った時に思い切りの言わせてもらっての覚悟がどうしていただろうか。どうしてお父さんは自分が早く逝くことをわかっていらたのですか。なぜこんな事を聞くかというところから何事も完璧に済ませようとして進めていた事、今でなくてもどうも思うところも率先して完了させたことなど。振り返って考えるところも思わずいられます。でもお父さん、なぜ「私も私に言いついてくれなかつたのか」、それをもう一つ聞きたいことは、お父さんにとって私の50年間の人生は幸福だったのでしょうか。いつも気がなるお母さん。

でも私なりに思っているのは、直前にみんなで会えた時の優しい眼差しと力強くぎゅっと握り返してくれた手の温もりが今でも忘れられなく、それがお父さんの答への全てだと信じています。私からお父さんには感謝しかありません。素晴らしい子供たちと幸福な人生を本当にありがとうございます。その感謝の思いを込めて毎日好物を作り二人で食事していますよね。大好きなビールと煙草もね。でも同じものが何度も出てくるって文句も言いたいんですよ。ごめんね、子供達が突然きてもいいようにと、なんでも大量に作るという癖が中々治らないのです。だからお父さんに協力を求めています。今私は乗り越えなければいけないことがあります。いつまでも悲しみ落ち込んでいる私の姿は、どんなにみんなを心配させ力悲しませているかと分かっているのです。だから早く立ち直らなければと常に思っているけどそう容易いことではありません。でもお父さんと約束します。来世でまた二人で楽しく暮らせる日を信じて、これからの余生を明るく生きていくので、お父さん、思い出していただけたらね。守らないうちは喝を入れてください。

リクエスト曲

（ 男の涙／北島三郎 ）